

日本共産党

高槻市会議員団

市政資料

発行／
日本共産党
高槻市会議員団
高槻桃園町2-1
電話
072-674-7230
FAX
072-674-3202

中村れい子
☎685-6686
宮本雄一郎
☎695-1900
きよた純子
☎676-5068
出町ゆかり
☎655-8513

市長の新年度施政方針表明される

濱田剛史市長は、3月1日、市議会本会議において、新年度の予算や施策について、方針を発表しました。子育て世代の応援、防災対策、市バスの新路線開通に向けた準備などが打ち出されました。

■待機児童問題に対応

保育所選考からもれ、保護者がやむなく育児休業を延長した場合などは、国は待機児童にカウントしませんが、最大限、保育所に入所できるように、認可保育所の増設・分園などを支援します。

■妊産婦の悩み相談、ヘルパー派遣など

妊娠届時に保健師が全ての母親に面接を行います。体調悪化、健診未受診の母親などを早期に把握し、相談・ヘルパー派遣などの支援を行います。

■子どものインフルエンザ予防接種費用助成

子育て家庭の経済的負担を軽減し、子どもの健康を守ります。1回1000円、2回までの助成で、生後6ヶ月から小学校卒業までの子どもが対象です。

■コミュニティソーシャルワーク事業の充実

高齢者や障害者の医療・介護への橋渡し、生活保護など福祉制度の紹介、生活全般の相談など、多岐に渡る支援を総合的に行うコミュニティソーシャルワーカーを増員します。

■雨水貯留施設、安満遺跡公園で整備完了、城跡公園への設置に向け設計

多発するゲリラ豪雨の被害を軽減するために、大規模公園の地下に貯水槽を設置します。また、洪水被害がくり返し起こっている津之江地区の小学校校庭について、雨水が一気に流出しない構造を検討します。

■水害・土砂災害ハザードマップを作成

現在のハザードマップは、水害については河川があふれたり、決壊する「外水被害」しか示していません。側溝・下水道や排水路の水があふれる「内水被害」も示します。

あらたな施策には問題点も

●JR京都線芥川以西～総持寺新駅(茨木市)の高架化を研究

市はJR富田西側の府道ガード下、芥川鉄橋下の洪水危険箇所の解決等の効果をあげています。しかし、市の事業費負担は、大阪府の負担がなければ数百億円の見込みです。宮本議員は、「今後、市民にとって欠かせない、クリーンセンターの建てかえ、道路や下水道の更新などに大きな費用が必要になる。今後の財政見通しを考えると、到底認められない」と主張しました。洪水対策は大阪府が事業をすすめる計画です。市長は「実現可能性を多角的に検討し、財政の問題など様々な課題を、議会で意見交換をしていきたい」と表明しました。

●小中一貫教育学校等のあり方を検討

統廃合による施設一体型小中一貫校も含め、検討します。「施設一体型」は校区が広大になり、通学困難、登下校時の安全など様々な問題が発生します。また、地域行事の会場や避難所などの役割を果たす学校がなくなり、地域社会が衰退する恐れもあります。きよた議員は「デメリットの回避が保障できない場合は、見直すことも選択肢に入れるべき」と主張しました。

■消防・救急体制を拡充

高槻インターチェンジ、新名神高速道路上の火災等に備え、消防職員を増員します。日本共産党は長年、国指針を満たしていない消防職員数を増やすことを求めてきました。14名増員され、国指針の約79%に到達します。

■竹の内・番田方面の市バス運行に向け、準備

住民から要望が寄せられ、日本共産党も求めている新路線の来年4月開通に向け、バス停の整備などを行います。

日本共産党の代表質問と市長の答弁

(抜粋)

3月7日の市議会本会議において、日本共産党高槻市会議員団を代表して、中村れい子議員が新年度予算や方針に対し、質問しました。中村議員はアベノミクスによる貧困と格差拡大、大阪府が市町村を支援する責任を放棄していることを批判。その下の市の格差是正の取り組み、子育て支援、高齢者施策などについて質問しました。その一部を要旨にてお知らせします。

子どもの貧困調査を

質問 アベノミクスの結果、貧困と格差が広がりました。一人親家庭など、貧困が深刻です。子どもの貧困の実態調査を求めます。

市長 大阪府が実施予定の調査結果を踏まえ、中核市、近隣市の動向を踏まえ研究します。

公立幼稚園の役割について

質問 公立幼稚園は一定金額で誰もが幼児教育を受けられます。地域に対して、様々な取り組みをしています。公立幼稚園の役割について、お答えください。

市長 地域とのつながりを大切にしてきた公立幼稚園のこれまでの役割をさらに広げ、その役割を果たしまいります。

土曜学習支援の検証を

質問 民間学習塾に委託しての土曜学習支援は、矛盾もあります。学力格差を埋めることに役立っているか、塾への委託で良いのか、検証すべきです。

市長 全国学力テスト、各種調査を活用し、分析してまいります。

要支援高齢者の介護サービス確保を

質問 国は来年4月から、現行の要支援にあたる高齢者を原則、介護保険サービスの対象外にします。継続して、現在のサービスを受けられるように、市独自の基準や制度が必要です。

市長 厚生労働省は、現行のサービス提供も可能としていることから、高齢者の状態に応じたサービス提供を行ってまいります。

市バス敬老パスの効果について

質問 市バス敬老パスについてのアンケート結果では、週5日以上外出している人が40%以上など、高齢者の健康に役立っています。アンケート結果の評価を。

市長 市営バスが高齢者の移動手段として、欠かせないものであり、買い物や通院、趣味・娯楽など外出支援に役立っていると認識しています。

| 敬老パスが役立っていること | |
|---------------|-------|
| 経済的負担の軽減 | 65.9% |
| 外出する機会の増加 | 59.9% |
| 健康 | 31.2% |

| 外出の目的 | |
|-------|-------|
| 買い物 | 57.9% |
| 通院 | 40.7% |
| 趣味 | 35.3% |

まちなかの農地の保全を

質問 市街化調整区域でも開発が進み、農地の保全が難しくなっています。市の農地保全に対する考えをお答えください。

市長 農地は食糧供給だけでなく、洪水防止、良好な景観の形成など、多面的な機能を有しています。今後も、遊休農地の解消、農道整備など、農地の保全や営農環境の整備に努めてまいります。

